

## アンカーについて

アンカー（プラグ）とは壁にネジを効かす際に使用する部品です。石膏ボードやコンクリートなどの壁に物を取り付けるときに使います。String Furniture製品を壁に取り付ける場合、必ずアンカーを使用した上で付属のネジを使い固定してください。付属のアンカーは硬質石膏ボード、コンクリートなどに適応しています。一般的な日本の石膏ボードに取り付ける際は、プラスドライバーだけで簡単に施工できる石膏ボード専用アンカーを使用してください。

### ■石膏ボード専用アンカー

String Furniture製品を一般的な日本の石膏ボードに取り付ける際は、プラスドライバーだけで簡単に施工できる石膏ボード専用アンカーを使用してください。アンカーを石膏ボードに面一になるまでプラスドライバーで埋め込んでから、付属のネジをねじ込み製品を壁に固定してください。石膏ボード専用アンカーについては販売店にお問い合わせいただくか、ホームセンターなどでご購入ください。



### ■付属アンカー

付属アンカーは硬質石膏ボードおよびコンクリート壁などに適応しています。付属アンカーを使用する場合は、電動ドリルで適正サイズの下穴をあける必要があります。下穴はString®の場合径6mm、Museum™の場合径8mmです。必ず壁の種類に合ったドリルで、正しい径のサイズの下穴をあけてから、ハンマーでアンカーを最後までしっかり差し込んでください。その後プラスドライバーを使ってネジをねじ込み製品を壁に固定してください。



#### 硬質石膏ボード



#### コンクリート



### ■付属アンカーのメーカーFischerの公式施工動画

[https://youtu.be/IsG\\_mmGRMZM](https://youtu.be/IsG_mmGRMZM)

動画では、最後の行程であるネジの取り付けも電動ドライバーで行っていますが、String Furniture製品の場合は電動ドライバーの使用は避けプラスドライバーで行ってください。



- \* コンパネなど木の壁にアンカーは不要です。
- \* 壁の形状・種類、また建物の規定により製品を設置できない場合があります。
- \* アンカーについて詳しくは、販売店もしくは最寄りの工務店やホームセンターにご相談ください。

## String® 組み立て・設置のポイント

String®ははしご状のフレームが、シェルフ類を支える仕組みが特徴の壁付モジュール式収納家具です。サイドパネルには約5cm間隔で細いバーが渡されており、バーに合わせて棚板の位置をいつでも移動・調整することができます。後からパーツを買い足したり、シェルフ全体を上下左右に拡張することが可能です。どなたでも組み立て・設置できる製品ですが、そのコツを掴めばより簡単に作業ができます。

### 注意事項

- 商品の組み立て・設置作業は平らな場所で行ってください。
- 商品の組み立て・設置には同梱された木ネジ・金具をお使いください。
- 壁の形状・種類、また建物の規定によりString®を設置できない場合があります。
- コンクリート壁など特殊な壁面に取り付ける際は、専門業者にお問い合わせください。
- String®のウォールパネルにキャビネットなど重量のあるパーツを組み合わせる際は、壁に下地を付けてから設置してください。下地施工については専門業者にお問い合わせください。
- 奥行30cmのサイドパネルに奥行20cmのシェルフを使用すると、シェルフが前後にスライドする可能性があり事故の原因になります。
- フリースタンドシェルフ以外のString®は必ず壁面に固定してお使いください。
- 推奨荷重を守りお使いください。

### 大人2名で組み立て

String® Pocketは慣れている人であれば女性1人でも壁に設置できるほど、組み立て・設置が簡単なシェルフですが、String® PocketもString® Systemも大人が2名いると確実に組み立てることができます。

### 用意する道具はプラスドライバーと水平器のみ

String®を取り付ける位置を壁全体の中で決める際、メジャーがあると便利ですが、String®自体の組み立て・設置にメジャーは不要です。

### 壁取り付けのネジが付属

サイドパネル1枚に対して長さ45-50mmのネジ2本が付属されています。



### 壁に適したアンカーを使用

石膏ボードやコンクリートなどの壁にはそれぞれに適したアンカーを使用した上で、付属のネジを使いString®を壁に固定してください。アンカーはホームセンターなどで販売しています。コンパネなどの壁にアンカーは不要です。

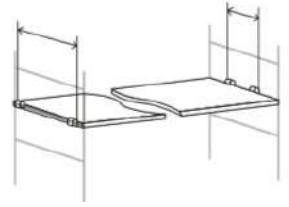
壁の形状・種類、また建物の規定によりString®を設置できない場合があります。

アンカー例



左：幅広

右：幅狭



## 棚板には左右があります

サイドパネルに棚板を引っ掛けるためのフック穴の位置が左右で異なります。

左側は幅が広く、右側は幅が狭くなっています。

シェルフを左右に連結する際、金具どうしが重なり合わないよう

考えられた仕組みです。

## ウォールパネルには上下があります

ウォールパネルの下部ネジ穴は出っ張っています。

これは上下にサイドパネルを連結する際に、

フロアパネルまたはウォールパネルの上部ネジ穴と重ねて、

上下のウォールパネルの接合箇所をネジ1本で固定させるためです。

連結させない場合は、少し浮かせた状態で設置してください。

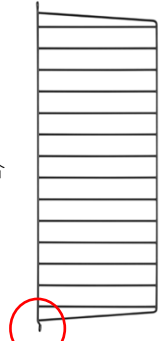
スペーサーが同梱されている場合は、スペーサーをお使いください。



単体で使用的場合



連結させた場合

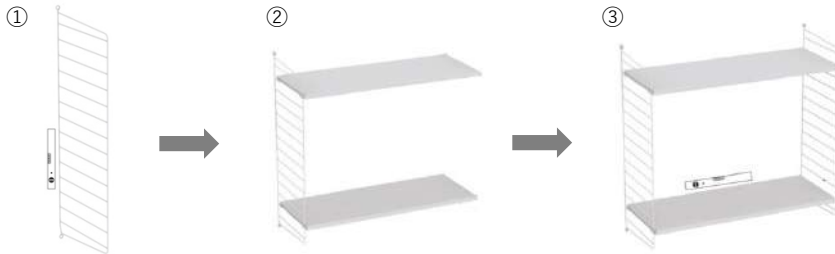


## 幅はString®の棚板を使って計測。メジャーは不要

String®を壁に取り付ける際は、左側のサイドパネルからスタートしてください。次に棚板で幅を測り、

その上で次のサイドパネルの位置を確定してください。

メジャーを使って全てのサイドパネルを先に壁に取り付けた場合、棚板が入りにくくなる場合があります。



①水平器で垂直を測り上下を固定

②固定した左サイドパネルに棚板2枚を引っ掛ける

③右サイドパネルを棚板に引っ掛け、棚板の水平を確認してから、右サイドパネルの上部を固定し、棚板と右サイドパネルの水平・垂直を再確認してから、右サイドパネルの下部を固定

## チェストのレールには左右があります

白いプラスチック留め具の凹み部分に右左の印が付いています。

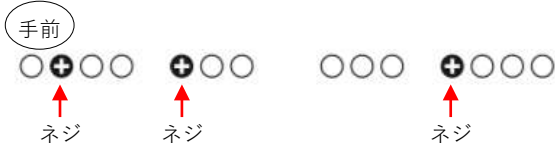
「L」は左、「R」は右です。

プラスチック留め具が手前下に来るよう、  
また穴がたくさん空いた面が左右の側面に当たるように  
取り付けます。

付属のネジを指定の穴に差し込んでレールを留めます。

ネジを差し込む穴は上段のみです。

下記の図に従ってネジを各3箇所取り付けてください。



### 【左側に来るレール】



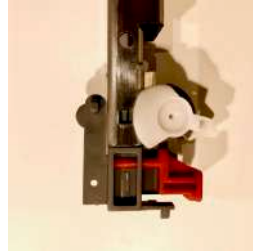
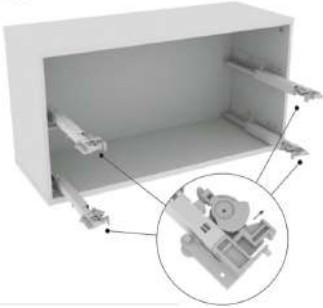
### 【右側に来るレール】



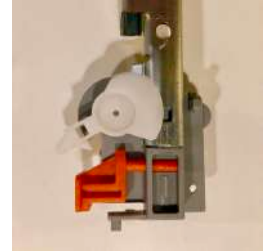
## チェストの引き出しをレールに乗せるコツ

左右のレールを全て手前に出して、レールに付属のストッパーをオープンにしておきます。

レール手前に付属しているロック（各2箇所、ホワイトとオレンジの箇所）をオープンにします。  
ホワイトのロックはつまみが外側に向けた状態、オレンジのロックは外側へ引き出した状態です。



左

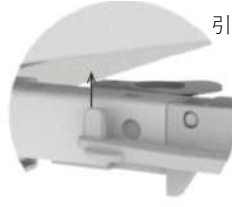


右

下の段から引き出しを乗せていきます。下の段のレールを手前に出し、引き出しの左右裏面と左右底にレールの突起が入る引き出しの小さな穴にレールの突起を差し込むようにして、引き出しをレールの上に設置します。レールが滑って中へ入らないように手でレールを抑えながら左右交互に行くと作業しやすいです。



引き出し左右裏面



引き出し左右底

表向きには見えない状態ですが、ロックをクローズにします。

ホワイトのロックは回転させてレールに添寄せた状態、  
オレンジのロックは内側へ押し込んだ状態です。



左



右

## 気軽さ、カジュアルさが特徴

String®は軽快でカジュアル、シンプルな造りゆえ、床や壁の歪みや凹みが原因で水平・垂直が取れないことがあります。ただし取り付けの壁や床の歪みにも柔軟に対応できるよう、サイドパネルのネジ穴には遊びを持たせる設計が施されています。またサイドパネルの一部を手でひっぱるなどして、数ミリ、数センチの歪みを設けさせ、後から棚板を移動させたり、付け足したり、減らしたりすることができるよう、柔軟性あるスチール素材を使用しています。さらにこの柔軟性により、サイドパネルがポキッと折り曲がらず安全性をもたらしています。

水平器を当てる際、サイドパネルの位置によっては、垂直でない場所が見受けられる場合がありますが、品質上・安全上に問題はなく、棚板をはめていくことで全体が垂直・水平となり、シェルフが完成する仕組みです。

## 組み立て説明書の同梱

組み立て説明書は商品の箱に同梱されています。String® Furnitureの公式ホームページ[stringfurniture.com](https://stringfurniture.com)からダウンロードすることも可能です。組み立て・設置の前に必ずご一読ください。

## PL保険に加入しています

String Furnitureでは、厳格な品質管理のもと製造にあたっておりますが、もしもの製品の不具合による事故に備えPL保険（生産物賠償責任保険）に加入しています。